

千代田化成® 現地レポート 追肥で千代田化成と一般化成を比較してみました!!

今回は滋賀県にある元治元年(1864年)創業の老舗、有限会社野矢商店とそのグループ会社である株式会社GRITCH(農作物の生産・作業請負・集荷業)にご協力いただきトウモロコシの追肥で千代田化成と一般化成の比較試験を行いました!!



株式会社GRITCH事務所

GRITCHでは女性社員が中心となって現場で活躍されています!!

千代田化成® で液肥を作るとコスパ抜群!! もちろん効果も◎

千代田化成 の液肥の作り方

【施肥例】

チツソ1kg施肥したい場合

- ①バケツに水を10~20リットル入れる
- ②千代田化成を、7kg投入
- ③良く混ぜて溶かす
- ④液肥の完成 → 液肥混入機で灌水施肥

1000倍液肥なら千代田化成®1袋/20kgで
およそ**20,000ℓ**の液肥が作れます!



試験概要

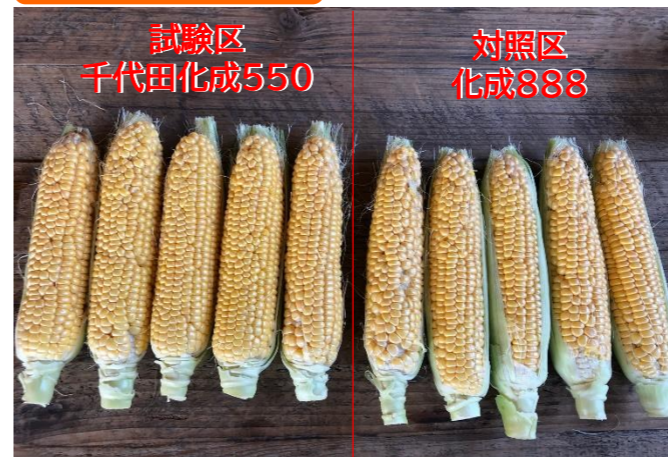
品 種:ゴールドラッシュ86

定 植:5月25日

基 肥:Dd入り・亜リン酸カルシウム入り きみだけ(15-10-12 苦土1,ホウ素0.2)

追 肥:千代田化成550(15-15-10)または化成肥料(8-8-8)※窒素成分を合わせて施肥
同一圃場にて追肥の違いによる収穫物への影響を調査各5本ずつ収穫し
重量・糖度を比較しました。

試験結果



	千代田化成550		化成肥料 888	
	重量(g/本)	糖 度	重量(g/本)	糖 度
1	287	17.0	270	15.6
2	337	17.4	278	15.8
3	308	17.2	307	15.7
4	322	17.4	310	16.0
5	317	15.9	298	16.6
平均	314.2	16.98	292.6	15.94

千代田化成区は平均重量も重く、糖度も約1度高い結果でした!!

千代田化成を使用した感想

【株式会社GRITCH 西村様】

千代田化成を使用した区はガッチリとして太く、重量感があったが化成肥料888は細く収穫物に差を感じた。作業面では千代田化成は水に溶けやすく、拡散性に優れており狙ったタイミングで肥料を効かせることができるので追肥の場面で使用しやすい肥料だと思います。



最近話題!?!の肥料「亜リン酸カルシウム」とは?

近年、通常のリン酸より作物体内での移動性が高く、施肥効果の高い「亜リン酸」が注目されています。その「亜リン酸」と「カルシウム」の効果を合わせ持つ「亜リン酸カルシウム」についてご紹介いたします。

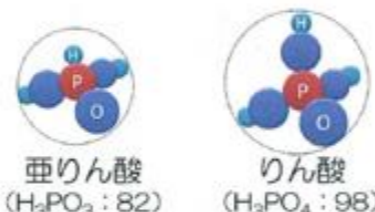
「リン酸」と「亜リン酸」の違い

・植物体内での移動性が高い

亜リン酸はリン酸よりも小さいため、植物体内での移動性が非常に高く隅々まで行き渡ることから施肥効果がとても高いです。

・土壌に固定されにくい

リン酸は土壌中に固定されやすいが、亜リン酸は土壌に固定されにくいいため効率よく吸収されます。



↑通常のリン酸と比べ酸素が一つ少なく分子量が小さい

亜リン酸カルシウムの特長

＜土壌中での保持・流亡イメージ＞



「亜リン酸カルシウム」はリン酸・亜リン酸肥料の中でも、＜溶性のため流亡しにくく、より効率よく利用されます。また、カルシウム源としての効果も期待できます。

右面では、亜リン酸カルシウム入り肥料「きみだけ502」を基肥に使用してもらい追肥の違いによる収穫物への影響を調査しました★

千代田化成[®] 現地レポート

基肥に亜リン酸カルシウム入り肥料を施肥し、
追肥で千代田化成[®]と一般化成を比較してみました!!

近年、通常のリン酸より作物体内での移動性が高く、施肥効果の高い「亜リン酸」が注目されています。その「亜リン酸」と「カルシウム」の効果を合わせ持つ「亜リン酸カルシウム」入り肥料をトウモロコシの基肥に施肥し、追肥で千代田化成[®]と一般化成を比較しました。

「亜リン酸」と「カルシウム」の効果を合わせ持つ!?
基肥に使用した亜リン酸カルシウムとは!

「リン酸」と「亜リン酸」の違い

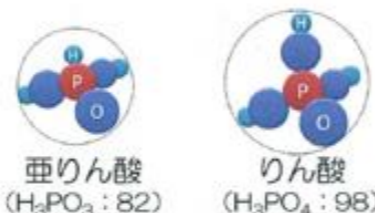
・植物体内での移動性が高い

亜リン酸はリン酸よりも分子量が小さいため、植物体内での移動性が非常に高く隅々まで行き渡ることから施肥効果がとても高いです。

・土壌に固定されにくい

リン酸は土壌中に固定されやすいが、亜リン酸は土壌に固定されにくいいため効率よく吸収されます。

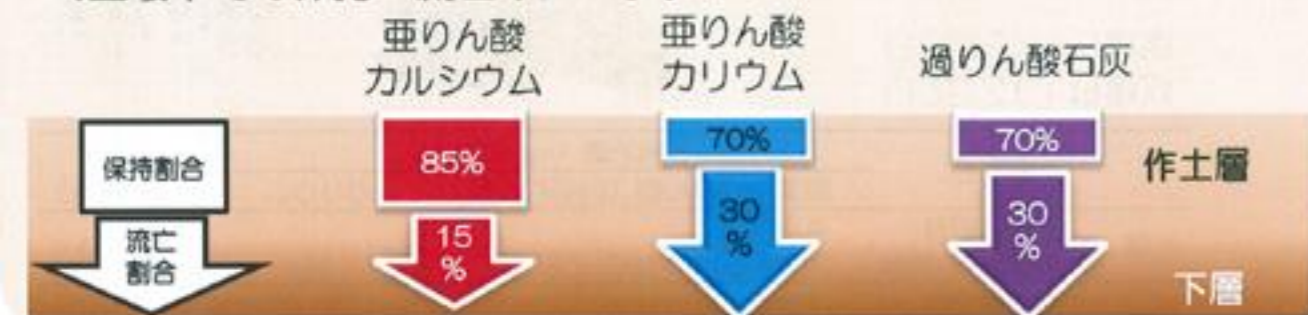
亜リン酸により、増収・品質向上・花数の増加や根張りの向上などが期待できます!



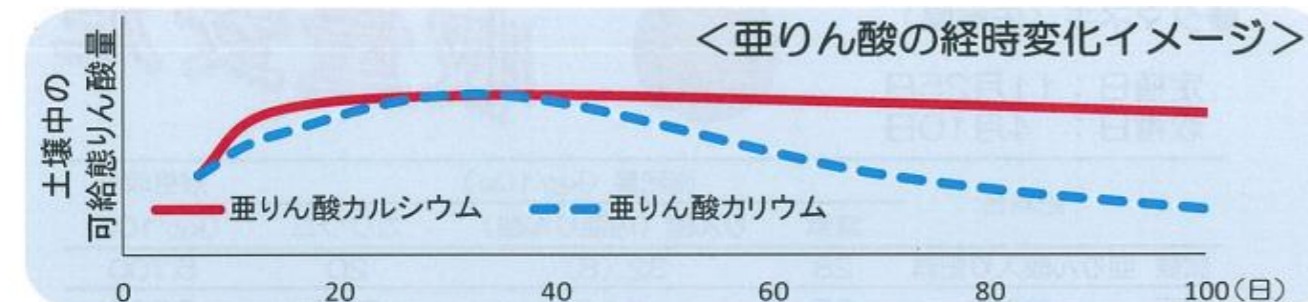
↑通常のリン酸と比べ酸素が一つ少なく分子量が小さい

亜リン酸カルシウムの特長

＜土壌中での保持・流亡イメージ＞



「亜リン酸カルシウム」はリン酸・亜リン酸肥料の中でも、＜溶性のため流亡しにくく、より効率よく利用されます。また、カルシウム源としての効果も期待できます。



「亜リン酸カルシウム」は「亜リン酸カリウム」よりも長く効きます。

基肥に「亜リン酸カルシウム」入り肥料を施肥し、 追肥で千代田化成[®]と一般化成を比較!!

今回は滋賀県にある元治元年(1864年)創業の老舗、有限会社野矢商店とそのグループ会社である株式会社GRITCH(農作物の生産・作業請負・集荷業)にご協力いただきトウモロコシの基肥に亜リン酸カルシウム入り肥料、追肥で千代田化成[®]と一般化成の比較試験を行いました!!



株式会社GRITCH事務所

GRITCHでは女性社員が中心となって現場で活躍されています!!

試験概要

品 種:ゴールドラッシュ86

定 植:5月25日

基 肥:Dd入り・亜リン酸カルシウム入り(15-10-12 苦土1,ホウ素0.2)

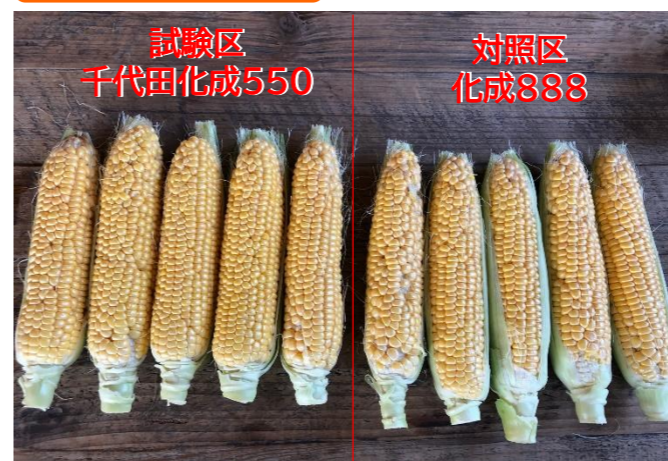
追 肥:千代田化成550(15-15-10)または化成肥料(8-8-8)※窒素成分を合わせて施肥

同一圃場にて追肥の違いによる収穫物への影響を調査

各5本ずつ収穫し重量・糖度を比較しました。



試験結果



	千代田化成550		化成肥料 888	
	重量(g/本)	糖 度	重量(g/本)	糖 度
1	287	17.0	270	15.6
2	337	17.4	278	15.8
3	308	17.2	307	15.7
4	322	17.4	310	16.0
5	317	15.9	298	16.6
平均	314.2	16.98	292.6	15.94

千代田化成区は平均重量も重く、糖度も約1度高い結果でした!!

千代田化成を使用した感想

【株式会社GRITCH 西村様】

千代田化成を使用した区はガッチリとして太く、重量感があったが化成肥料888は細く収穫物に差を感じた。作業面では千代田化成は水に溶けやすく、拡散性に優れており狙ったタイミングで肥料を効かせることができるので追肥の場面で使用しやすい肥料だと思います。

